

# the People

元気なまちには 元気な主張を続け  
元気に行動する 市民がいる

the people (ザ・ピープル)  
2011年 1月発行

発行：特定非営利活動法人 ザ・ピープル  
代表者：吉田 恵美子  
所在地：福島県いわき市小名浜字本町11-1  
まちづくりステーション小名浜内  
TEL/FAX：0246-52-2511  
E-mail：the-people@email.plala.or.jp  
URL：http://www.iwaki-j.com/people/

## 古着の明日を考えるシンポジウム

今年度の締めくくりの時期を迎え、地球環境基金からの助成を受けて進めている「地域連携型ファイバーリサイクル活動モデルの整備事業」では、古着リサイクルの今後について共に考え意見を交換し合う集いを残すのみとなりました。そこで、尚綱学院大学教授玉田真紀先生を講師に迎え、各地域で古着リサイクルボックスの設置に取り組んでくださっている団体の方々にも加わっていただき、広域化してきた古着リサイクル活動を途絶えさせないために、今後どのように進めていけばいいのかを考えるシンポジウムを開催します。是非多くの皆様にご参加頂き、市民レベルでつながる古着リサイクルの将来像を一緒に考えていただきたいと思います。

「古着リサイクルの明日を考える」(地球環境基金助成事業)

1. とき 平成23年2月26日(土) 15:00~17:30
2. ところ カルチェ・ド・シャンブリアン  
福島県いわき市小名浜住吉字飯塚45-1 TEL 0246-58-4122
3. 内容
  - 本会活動DVD上映 (15:00~15:30)
  - 基調講演 (15:40~16:30)  
演題 「古着リサイクルの意義と広がり」  
講師 尚綱学院大学教授 玉田真紀氏  
(研究分野：循環型の衣生活文化と社会システム・デザイン)
  - パネルディスカッション (16:35~17:30)  
「地域から始めよう！古着の再資源化」  
パネリスト 須賀川市 スリーピース 小野寺仁氏  
石川郡浅川町 浅川みらい会 鈴木範子氏  
神奈川県相模原市津久井町 青い鳥 前川好子氏  
東京都 サンフラワー株式会社 長田素則氏  
アドバイザー 尚綱学院大学教授 玉田真紀氏  
コーディネータ 特定非営利活動法人ザ・ピープル 理事長 吉田恵美子
4. 参加費 無 料
5. お問い合わせ ザ・ピープル事務局まで

## リメイク&手づくりフェア・参加者募集！

平成23年3月20日(日)に行われる「ザ・ピープルリメイク作品展」及び、「リメイク&手づくりフェア」の参加者を募集しております。この企画は、いわき市からの委託を受けて本会が市内で取り組んできた、福島県緊急雇用創出基金事業「ファイバーリサイクル推進業務」に対する一般市民の関心をさらに高める目的で実施するものです。スタッフたちが生み出したリメイク作品展や、昨年11月に開催された「リメイクファッションコンテスト」で優れた作品を出展して頂いた方をはじめ一般の皆様、リメイク&手づくり品の披露を考えております。なお、このイベント開催及び運営にあたっては、市内在住の学生を中心として構成されている学生ボランティア組織(UGM)に、全面的に協力して頂けることになっております。

### <実施概要>

ザ・ピープル リメイク作品展	
(1)本会が工房ぴいぷるにおいて実施している古着を素材とするリメイク作品作りを紹介するための作品展	
(2)工房スタッフなどによるリメイク教室	
(3)工房スタッフが高齢者介護施設スタッフと協議を重ねながら開発してきた介護用衣料品の展示	
あなたのリメイク&手作り品展	
一般市民の皆様から参加者を募って行うリメイク品や手作り品に限定した展示会 (あなたの自慢の作品をご披露下さい)	



- <参加者募集期間> 平成23年2月1日~2月28日
- <開催日> 平成23年3月20日(日) 10:00~16:00
- <場所> 小名浜さんかく倉庫潮目交流館
- <参加費> 無料

※参加申込・お問い合わせは本会事務局 (TEL/FAX 0246-52-2511) まで。

## どんどん広がる 古着リサイクルの輪

ピープルの古着回収用のボックスを県内・県外に地域との連携により設置いたしました。



水戸市鯉淵町2125-1  
特定非営利活動法人 すだち様



白河市新高山21-1  
有限会社すずきクリーニング様

## 創立20周年記念交流会

ザ・ピープルは、1990年12月に設立。これまで20年の歩みを進めて参りました。その裏には古着を提供くださった多くの市民の皆様をはじめ、リサイクルボックス設置という形で応援し続けてくださっている企業の皆様、様々な事業を実施する上でお力添え頂いた各団体の方々など本当に多くの方々の支えがありました。

人が思いを持ってつながることの意義を痛感し続けてきた20年。この年月を振り返り、多くの仲間の皆様と語り合う交流会を催します。是非ご参加下さい。

1. とき 平成23年2月26日(土) 17:30~19:30
2. ところ カルチェ・ド・シャンブリアン  
(シンポジウム終了後別室に移動して行きます)
3. 参加費 5,000円(飲食代)
4. 事前にお申し込みが必要になります。詳しくは事務局までお尋ね下さい。

つばやき  
古着と人生 ④

本会では「おさがりバザー」という子供服ばかり約7000点を一堂に展示し、一着200円という格安の価格で提供するイベントを定期的に開催している。小名浜地区では春と秋の2回。須賀川市では冬に開催している。県内各地での開催を望む声もあるが、会場や広報の問題など多くの課題があつて難しいのが現状である。▼開催当日、会場には子育て真っ只中というお母さん、若いご夫婦、出産間近な方が母親と一緒に来場されるなど微笑ましい光景で賑わう。落ちて1〜2時間腰を据えて沢山のブランド物を探し当てるお母さんには感服。一人で50着も購入された方には「何人いらっしゃるんですか」と尋ねたことがあつた。5人の男の子がいるんですけど、ピープルの家計は大助かりなんです。我が家の家計は思わす握手してしまつた。何れにしても賢いお母さんが増えていくと思つた。会計のとき「10着です。2千円です。選び方が上手ですね」と感心しながら袋に詰める時の満足感。「ありがとうございます。明日もやってますから、ゆつくり探してください」と声をかける。▼私にも5歳になる孫がいる。私が選んだ服は全部彼女のお気に入り。嬉しいかぎりである。何せたちまち着れなくなるほどの成長ぶり。数多く選んであげるから大して傷まない。次に女の子が生まれたら着せてあげたいと思うほどである。残念ながら少子化の時代、それは望めそうにもない。私の子育て中は、こうした「おさがりバザー」はもちろんなかつた。親戚から次から次、おさがりがあつたから3人の子育ては随分助かつたものだ。▼ところで本会がこのバザーをスタートさせたのは17年前。市内の村岡産婦人科医院のオレンジクラブさんが、会場や人の確保、DMでの周知など医院をあげて協力して下さつたからこそ定着して来たといえる。▼以前、専門家の店舗コーディネーターから指導を受けたことがある。「都会で古着は人気がある。文化のバロメーターだ」「古着は宝の箱だ」と。月約17トン集まる古着を、ボランティアスタッフが一枚一枚手作業で10品目程に仕分けする。再利用できる綺麗な状態の子供服は「おさがりバザー」としてストックする。その数7000着がそのまま宝物となる。この「おさがりバザー」は、本会なりの子育て支援でありお母さん方の応援的存在である。これからは先もずっと続けていきたいと願っている。